

令和1年度 中区障害者自立支援協議会 発達部会 8月議事録	
日 時	令和1年8月28日(水) 10時00分～12時00分
開催場所	横浜市発達障害者支援センター見学
出席者	11人
欠席者	人
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ 非公開
議 題	① 横浜市発達障害者支援センター見学・事業説明について ② 研修会または、部会内容について
議 事	<p>① 横浜市発達障害者支援センターの三浦氏より説明 リーフレットを使いながら説明をしていただいた。</p> <p>事業内容</p> <p>◆相談・協働・研修</p> <p>相談：みたてる・つなぐ・サポートする 協働：個別ケースを通して・ケア会議・ケース検討への参加・通所先や面談の場への訪問・支援者会議への参加 研修：発達障害の基礎知識・支援者向け研修</p> <p>・ 検査的な行為はない。 ・ 本人や両親からの様子</p> <p>本人自身が状況をうまく他者に伝えられない時には、書面などでやり取りも行う。</p> <p>・ センターの対象者として多い年代などは ➡中高生(19歳～39・40歳)生活環境が自由になってくる時期。就職がうまくいかない、学校でうまくいかなかったなど。</p> <p>・ 地域支援マネジャー：施設や入所先などから依頼で対応する。基本、家族からの依頼は受けない。 ・ ケアプラザや生活支援センターなど、地域への研修などに対応する。(研修を行う)</p> <p>・ 医療機関への研修➡開業医・医療面からの視点➡地域の医療関係者向け ・ 特定相談➡出張相談(区役所に定期的に訪問して相談。なかなかつなげられない方)本人のサービスを決定している区で実施。</p> <p>・ 就労支援センター ➡就労については本人がどう対応するか(2～3年後再検討可能)記録は5年間保管</p> <p>・ 手帳の有無に関しては、診断を受けていない方が多い。大人になってから来所</p>

する方が多い。(手帳なし)

- ・ひきこもりケースについて

できれば本人に会いに行く対応をしているが、ケースによっては、他機関（区役所・基幹）と共同して対応する。

- ・最近多くなっているのは、夫婦相談。

➡診断ではなく、普通に生活をしているケース。夫が発達あるいは、妻が発達。案内としては、男女共同参画センターなどの夫婦相談を案内することがある。

- ・会社からの相談

➡年数回はある。

・大学のキャリア相談などもあるが、基本、今は学校自体に相談室を設けているところが多く手が出せないこともある。

- ・学齢期の相談は、相談室からすぐに対応可能。

② 研修会または、部会内容について

◆支援者向けの発達障害について、演習（グループワーク）を含めた、研修は実施することに決定。

◆横浜市発達障害者支援センターに講師依頼。発達障害の基礎知識・基礎スキル事業所説明会など

【内容】

- ・グループワーク的なことプラス雑学的なこと

➡1 課題に対してのアイデア出し。

- ・事業所紹介なども含めながらの研修。

・日程：2020年2月10日か2月14日 30名程度

・(案) テーマ：「発達障害者の自立に向けた支援を考える」

・周知：中区自立支援協議会全部会、中区内の関連事業所、校長会など

次回部会開催日：2019年10月1日（火）16：00～

場所：横浜市発達障害者支援センターにて